

第6次松崎町総合計画 令和7年度事業評価総括表

「この1年間の取り組み」の5段階評価結果

(評価基準)

A：目標を上回るものだった

B：目標は達成できた

C：目標は概ね達成できた

D：目標に達しない取り組みが多かった

E：ほとんど目標を達成できなかった

	A	B	C	D	E	計
総務課	0	0	5	0	0	5
企画観光課	0	12	4	3	0	19
産業建設課	0	1	2	0	0	3
健康福祉課	0	9	3	0	0	12
窓口税務課	0	2	0	0	0	2
生活環境課	0	2	1	0	0	3
教育委員会	0	5	3	4	2	14
計	0	31	18	7	2	58

目標指標

	目標(R9) 達成	現状値を 上回った	現状維持	現状値を 下回った	計
総務課	2	0	1	1	4
企画観光課	1	4	1	3	9
産業建設課	1	0	1	1	3
健康福祉課	4	1	0	1	6
窓口税務課	1	0	0	0	1
生活環境課	0	2	0	0	2
教育委員会	0	3	2	3	8
計	9	10	5	9	33

※スマートフォン利用率は総合計画策定時のアンケート調査結果に基づく指標で毎年度の評価はできない

第6次総合計画 実施計画 事業一覧

単位:千円

章	節	番号	主要施策名	事業概要	この1年間でできたこと	評価	今後の展開(力点)	令和7年度事業費		財源内訳				
										国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
I だれ一人取り残さない、支え合いのまちづくり	第1節 危機管理体制の強化	①	災害に対する対応 (総務課)	◇ 防災基盤である災害活動体制、情報連絡体制、消防救急体制、相互応援体制など、災害全般に係るさまざまな体制を総合的に整備します。 ◇ 大地震、大津波、大規模風水害、異常気象、不測の天変地異などへの対応を地域防災計画、タイムライン(防災行動計画)、各種対応マニュアルなどであらかじめ定めておきます。 ◇ 住民主導の自主防災組織の拡大を図ります。 ◇ 消防団や地域住民が相互に連携し、高齢者、障がいのある人、乳幼児、妊産婦などの避難行動要支援者を支援する体制づくりを進めます。 ◇ 避難行動要支援者の事前避難について、町内ホテル等への宿泊費補助について検討します。	R7年度は、民間企業や財団法人との災害協定を締結しました。 住民に対しては、年3回の訓練のほか、自主防災会長および各地区防災委員向けの研修会と、一般住民向けの防災講演会を開催し、防災意識の向上に努めました。 また、地域防災計画の改訂も行いました。	C	・地域防災マネージャーを任用し、町の防災力の向上に資する取組を強化し、自主防災会への支援の充実を図ります。 ・国土強靱化地域計画の改正と、地域防災計画の改訂を行います。 ・健康福祉課において、個別避難計画の作成が進んでいくよう、必要な支援等を行っていきます。	計画	0	0	0	0	0	0
								実績	0	0	0	0	0	0
								差引増減	0	0	0	0	0	0
		②	防災対策の推進 (総務課)	② 防災対策の推進 ◇ 津波対策検討地区協議会などによる検討を踏まえて、地区の状況に応じた防潮堤整備を推進します。 ◇ 公民館が避難所として機能し、コミュニティ単位での避難体制の確保を図るため、公民館施設の改修などに対して支援を行います。 ◇ 県と連携して、急傾斜・砂防事業などにより災害防止対策を推進します。 ◇ ハザードマップを活用した危険箇所の周知・災害に対する知識の普及と情報発信を行います。また、危険箇所を把握し、機敏な対応に努めます。 ◇ 防災公園、ヘリポート等を整備し、緊急時の輸送を確保します。 ◇ 災害への事前の備えとして、災害備品の整備を行います。 ◇ 浸水被害を未然に防ぐため、河川改修など治水事業を推進するとともに、雨水の排水対策に取り組みます。 ◇ 基盤となる施設等の強靱化を進めます。 ◇ 被災後の復旧・復興が早期に行えるよう、津波浸水区域より順次、地籍調査を進めます。	R7年度は、町内の津波避難タワー建設候補地の検討を、前年度から引き続き行いました。 津波避難タワーの建設にあたっては、国の社会資本整備総合交付金(都市防災総合推進事業)を活用することとしたため、町内全域で津波避難困難地域を解消する計画を作成し、県、国に提出し、内閣総理大臣の承認をいただきました。 町の災害備品に関しては、衛星携帯電話ワイドスターの機器更新、災害対策本部用のコピー機の購入を行いました。 備蓄食料は新たに14,520食購入して53,120食に、飲料水は新たに3,600ℓ整備して28,367ℓとなりました。	C	・R8年度は、社会資本整備総合交付金(都市防災総合推進事業)を活用し、避難タワーの設計及び地質調査を実施します。 ・津波避難タワーの建設候補地が確定していない箇所建設地の交渉を行います。 ・防災公園の整備について、整備方針をまとめ、整備に活用できる財源調査など、計画的に事業を展開します。 ・備蓄食料・飲料については、計画的に備蓄数を増やし、目標値を目指します。	計画	10,400	0	5,266	1,800	0	3,334
								実績	0	0	0	0	0	0
								差引増減	△ 10,400	0	△ 5,266	△ 1,800	0	△ 3,334
	第2節 消防・救急体制の強化	①	消防体制の強化 (総務課)	各小隊が昼間でも活動できるよう人員の確保を進めるとともに、分団、小隊の再編や見直しを検討する。また、各種の消防資機材を導入し、発災時には消防団として対応できる体制を築いていく。	R7年度は、資機材の整備として、ホース80本のほか、防火服、LEDライト、拡声器、発電機、水槽用給水管、車載用消火器などを購入しました。 また、消防団の体制としては当町で初となる女性消防団員が2名(1分団1小隊及び3分団3小隊)入団しました。 小隊の編成については、3分団で統合の話が上がっているが、協議が進んでいない状況です。	C	必要な資機材の整備を行ないます。また、人員の確保に当たっては、小隊編成の協議を進めていきます。	計画	3,000	0	1,000	0	2,000	0
								実績	4,565	0	1,515	0	0	3,050
								差引増減	1,565	0	515	0	△ 2,000	3,050
		②	応急手当に関する技術の普及啓発 (総務課)	救急救命講習会の開催 応急手当の講習会の開催 AEDの公共施設等への導入	6月23日・24日の日程で救命講習会を開催し、2日間の日程で52名の消防団員が参加しました。講習会では、西伊豆消防署の講師から応急法や止血法などのほか、近年対策が叫ばれている熱中症に関する講義を受講いただき、救命処置に対する理解を深めていただきました。 また、町が整備しているAEDのパットの交換を行いました。	C	消防団員以外にも応急手当を学んでいただけるよう、講習等の周知を行っています。	計画	300	0	100	0	200	0
								実績	286	0	95	0	0	191
								差引増減	△ 14	0	△ 5	0	△ 200	191
	第3節 地域福祉の充実	①	きょうどうで進める (健康福祉課)	ボランティア活動や地区サロン活動を推進するために、拠点となる社会福祉協議会の運営費及びボランティア団体等の運営費を補助するとともに地域支え合い事業を推進し、「きょうどうの輪」を広げていく。	サロンの一覧やボランティアの募集などを広報し、地域活動への参画へつなげることができた。	B	地区サロンの活動がより充実したものとなるよう、講師派遣や運営者向けの講座開催などを実施していく。	計画	20,721	0	0	0	0	20,721
								実績	18,000	0	0	0	0	18,000
								差引増減	△ 2,721	0	0	0	0	△ 2,721
		②	多様な人の参加 (健康福祉課)	松崎町シルバー人材センターへの補助や認知症サポーター養成講座の開催。	認知症への理解と知識を深めるため、認知症サポーター養成講座を、中学2年生を対象に10月3日、企業・住民を対象に10月17日に実施した。	B	認知症サポーター養成講座を継続して開催していく。	計画	2,030	0	0	0	0	2,030
								実績	2,000	0	0	0	0	2,000
								差引増減	△ 30	0	0	0	0	△ 30
	第4節 高齢者福祉の充実	①	保健事業と介護予防の一体的実施 (健康福祉課)	地区サロンや地域社会活動などへの積極的な参加を促すとともに、家庭訪問を通じた生活改善や必要なサービスへの接続、健康診査(特定健診)受診者の増加を目指した受診勧奨、保健指導による重度化防止を行う。	ポピュレーションアプローチでは、町内7箇所のサロンへ出向き、フレイル予防と高血圧症予防について健康教育を行った。ハイスコアアプローチでは、健診未受診・医療機関未受診・介護保険未申請の健康状態不明者に健診受診勧奨と家庭訪問を行った。	B	ポピュレーションアプローチでは、さらに多くの対象にアプローチできる機会を検討していく。 ハイスコアアプローチは、脳血管疾患や心疾患、慢性腎臓病等の重症化予防のため、高血圧対策に取り組む。	計画	6,346	6,346	0	0	0	0
								実績	1,224	1,224	0	0	0	0
								差引増減	△ 5,122	△ 5,122	0	0	0	0
		②	地域包括ケアシステムの構築 (健康福祉課)	医療・介護・介護予防・住まい・生活支援サービスの充実を図るため、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築していく。 ・医療体制の整備 ・生活支援サービスの充実 等	・医療機関(下田メディカルセンター)への委託により、他職種による研修の実施や情報共有を行い、連携強化を図った。松崎・西伊豆地区では、6月27日と3月18日にブロック会議を開催。役場、地域包括支援センター、医療機関、介護施設、薬局、賀茂健康福祉センターなどが出席した。	C	地区サロンや地域社会活動などへの積極的な参加を促進する。 重症化防止のための取り組みや生活支援の充実、住民参加型のサービスの確立を図り、必要なサービスに接続していく。	計画	4,090	552	276	0	329	2,933
								実績	2,713	401	200	0	239	1,873
								差引増減	△ 1,377	△ 151	△ 76	0	△ 90	△ 1,060

第6次総合計画 実施計画 事業一覧

単位:千円

章	節	番号	主要施策名	事業概要	この1年間でできたこと	評価	今後の展開(力点)	令和7年度事業費		財源内訳					
										国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源	
	第5節 障がい者福祉の充実	①	意識啓発の推進 (健康福祉課)	各種福祉団体のPR、企業や行政機関による障害者などの役に立つ情報の提供などを行うことで、一般住民と関係団体の交流の場とする。 近年実施していない「ふれあい広場」に変わる交流の場を検討していく。	ふれあい広場は開催することはできなかったが、令和8年度に向けて社会福祉協議会の体制は整った。 障害者自立支援協議会の地域移行部会をはじめ各部会に出席し、障害者支援に関する課題の確認、支援方法等について検討した。	C	他市町との連携、事例等を参考に施設入所者等の地域移行について移行しやすい支援体制の確保に努める。 福祉意識の啓発については、社会福祉協議会を中心に関係機関との連携を図り、障害者週間等を活用してキャンペーンを実施するなど福祉意識の啓発に努める。	計画	500	0	0	0	0	500	
								実績	0	0	0	0	0	0	
								差引増減	△ 500	0	0	0	0	△ 500	
		25P～	②	地域における生活支援体制の充実 (健康福祉課)	乳幼児健診等を着実に行之い、障がいのある子の早期発見や保護者の相談に対応し、サービス等に繋げていく。 自立支援給付(訪問系や日中活動系、居住系のサービス)や医療費助成、補装具の支給などを行うことにより、地域で安心して自立した生活が送れるよう支援していく。	身体障害・知的障害・精神障害の各専門事業所に相談業務の委託を実施し、障害者を支援すべく相談支援体制を継続して確保した。 障害者の家族、相談支援委託事業所、障害サービス提供事業所との連携を図り、障害者及びその家族の意向にマッチした障害サービスの提供を行った。	C	相談支援事業所、福祉サービス提供事業所等との連携を図り、障害者や障害児及びその保護者が生活しやすい支援体制の確保に努める。	計画	196,150	97,108	48,554	0	0	50,488
									実績	194,626	92,022	46,010	0	0	56,594
									差引増減	△ 1,524	△ 5,086	△ 2,544	0	0	6,106
	第6節 保健・医療体制の充実	①	成人保健の充実 (健康福祉課)	がん検診等は医療機関等に委託し実施。 特定健診の結果から、高血圧、糖尿病、脂質異常症、腎不全、メタボリックシンドロームに該当する者について個別指導を行うことで重症化予防を図る。	・40歳の方は全員へ受診勧奨の案内通知を送付。検診車で地区を回る検診では胃がん・肺がん・大腸がんを、環境改善センターで実施する特定健診では、肺がん・大腸がん・前立腺がん検診を、医療機関委託の乳がん・子宮がん検診も同日実施で行い利便性を図っている。また、保健委員に地区住民への特定健診やがん検診受診の声かけを依頼、健康マイレージ事業の周知も行った。要精密検査未受診者への1度目の受診勧奨を賀茂医師会へ委託、それでも受診しない方へはもう1度受診勧奨の通知を実施している。受診者の利便性を考え、検診の予約をネット予約も併用した。 ・業者委託で、特定健診会場で1度以上(140/90以上)の高血圧の方へ受診勧奨および生活習慣の指導を実施。また、その後、医療機関を受診したか、生活習慣は改善されたかのアンケート調査、電話確認を実施した。その他の生活習慣病重症化予防指導、特定保健指導も自前で実施している。 ・若い年齢層をターゲットとした運動教室は、今年度は下田のタニタフィッツミーに運営を委託して行った。	B	脳血管疾患や心疾患による死亡率が高いため、原因疾患となる高血圧症対策について事業を推進していく	計画	9,928	147	0	0	395	9,386	
								実績	8,835	73	0	0	283	8,479	
								差引増減	△ 1,093	△ 74	0	0	△ 112	△ 907	
		31P～	②	母子保健の充実 (健康福祉課)	妊娠期からの継続的な相談や訪問、健診や教室を実施し、子どもの健全な成長の支援と相談しやすい環境を作る。また、学校等と連携した食育の実施や食育連絡会での情報交換により、健康な食生活の確立のための連携を図る。	・子育て支援アプリでは情報発信の機会が少なかった。育児相談会では、対象が少ないため妊婦から幼児の保護者をお誘いし、話せる場となっている。幼児健診について令和8年度から賀茂での広域実施できるよう調整した。 ・令和8年度のこども家庭センターを設置に向けた課内協議を開始。 ・管理栄養士が中心となり、食遊会の育成、減塩キャンペーンなどの食育事業など実した。個別の栄養相談の希望も年々増えてきており対応している。	B	こども家庭センター設置により、他機関と連携した相談・フォロー体制を強化していく。	計画	17,795	414	3,502	0	1,001	12,878
									実績	14,601	522	3,343	0	1,000	9,736
									差引増減	△ 3,194	108	△ 159	0	△ 1	△ 3,142
			③	保健医療体制の充実 (健康福祉課)	予防接種は医療機関に委託し個別接種を実施。賀茂圏域内外の医療機関と連携し接種率向上につなげる。 医療提供体制の充実を図るため、巡回診療や訪問診療等の検討をする。	・令和7年度に定期接種に新たに追加された帯状疱疹予防接種があり、スムーズに接種できるよう個別の通知やホームページ、回覧等実施し周知した。 ・新たな医療体制を検討するため、巡回診療やオンライン診療について、医療機関に聞き取りを実施したり業者等から情報収集を行った。へき地拠点病院による巡回診療は対象地区へ説明および希望調査を行ったが、実施しないこととなった。	B	引き続き、オンライン診療や巡回診療の検討をしていく。	計画	37,637	0	0	0	15,313	22,324
									実績	15,967	0	0	0	0	15,967
									差引増減	△ 21,670	0	0	0	△ 15,313	△ 6,357
	第7節 人権尊重・LGBTQ+の推進	①	女性登用の機会拡大 (教育委員会)	松崎町男女共同参画プランに則り、町職員や町民に対し、男女共同参画社会のあり方について普及啓発を図る。	令和8年度に中学校で実施予定の男女共同参画についての授業に向けて、「あざれあ」と話をした。	D	令和8年度中に中学校で男女共同参画についての授業を行う。	計画	350	0	0	0	0	350	
								実績	0	0	0	0	0	0	
								差引増減	△ 350	0	0	0	0	△ 350	

第6次総合計画 実施計画 事業一覧

単位:千円

章	節	番号	主要施策名	事業概要	この1年間でできたこと	評価	今後の展開(力点)	令和7年度事業費		財源内訳					
										国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源	
Ⅱ	だれもが夢を育み、実現できるまちづくり 第1節 子育て支援の充実	①	子育て支援の充実 (健康福祉課)		奨学金貸付や教育資金利子補給、出産祝い金と子育て支援祝い品の支給。また放課後児童クラブの実施などを行う。	B	教育資金利子補給金制度や奨学金制度の更なる周知を図る。	計画	13,930	0	0	0	0	13,930	
								実績	8,171	0	0	0	0	8,171	
								差引増減	△ 5,759	0	0	0	0	△ 5,759	
		43P～	②	子どもを産み育てやすい環境づくり (健康福祉課)	年度内30万円、通算5年度を限度とし、不妊治療に要した額を全額補助する。 妊娠届時より、出産・育児等に関する相談や情報発信等の支援と共に、経済的負担軽減のため、計10万円相当の支援金も支給する。	B	児童館事業や保健師による相談支援体制の充実、出産子育て支援アプリの登録を推進し、情報発信等を充実することによる子育て支援の充実を図る。	計画	2,151	1,134	425	0	0	592	
								実績	2,966	1,984	66	0	0	916	
								差引増減	815	850	△ 359	0	0	324	
		47～48P	③	保育サービスの充実 (健康福祉課)	保育園においては、継続して延長保育を実施するなど保育サービス提供を行った。また、児童館においても継続して一時預かり事業や親子で参加できる事業等に取り組むなど乳幼児が少ない中でも交流できる環境などの提供を行った。 令和8年度からの子ども誰でも通園制度の開始に向けて条例制定などの準備をした。	B	延長保育の継続実施、交流の場の創出に取り組む。子ども誰でも通園制度の開始。	計画	74,147	31,024	17,212	0	2,088	23,823	
								実績	80,342	34,903	15,998	0	1,996	27,445	
								差引増減	6,195	3,879	△ 1,214	0	△ 92	3,622	
		第2節 子ども・若者支援の充実	①	地域環境づくりの促進 (教育委員会)	「21世紀松崎町3つの実践運動」及び「地域の青少年声掛け運動」の周知と活動推進を図る。	「3つの実践運動」を区長会で説明し協力を得るなど、周知に努めた。	C	「3つの実践運動」を継続していくとともに、古くなっている地域住民への周知看板などの再整備を行っていく。	計画	600	0	0	0	0	600
									実績	500	0	0	0	0	500
									差引増減	△ 100	0	0	0	0	△ 100
	51P～		②	青少年活動の促進 (教育委員会)	スポーツ少年団(野球、サッカー、ソフトテニス、バレーボール)への補助金の交付により活動を支援する。 ウェルネスまつざきによる各種スポーツ教室の立ち上げ支援により、青少年のスポーツに触れる機会を提供する。	C	ウェルネス松崎の種目間の連携をとり、効率よく施設を活用し事業実施出来るように配慮した。	計画	300	0	0	0	0	300	
								実績	225	0	0	0	0	225	
								差引増減	△ 75	0	0	0	0	△ 75	
	第3節 幼児教育の充実	①	家庭教育支援の充実 (教育委員会)	幼児教育アドバイザーを活用し、効果的な幼児期の就学前教育を推進するとともに、幼小の架け橋期の連携を行う。 また、保育園と幼稚園の交流により園児の協調性を養うとともに、小1ギャップの解消を図る。	幼児教育アドバイザーの支援により、幼児教育についてや遊びの中の教育が小学校教育へつながることについて講演会を行った。	B	現在の取組みを継続して推進していく。	計画	350	0	0	0	0	350	
								実績	209	0	0	0	0	209	
								差引増減	△ 141	0	0	0	0	△ 141	
		57P～	②	子育て支援活動の充実 (教育委員会)	預かり保育を行い、園児や保護者に寄り添った取り組みを行う。 防災訓練(園児訓練及び職員訓練)を行い、不意の災害に備える。	保護者アンケートの実施により、家庭連携を深め、幼児理解や保護者との信頼関係の構築を図った。また、預かり保育の期間を増やし、保護者ニーズの実現に努めた。	B	ニーズを把握しながら、反映できるように継続して推進していく。	計画	1,000	0	0	0	0	1,000
									実績	819	0	0	0	0	819
									差引増減	△ 181	0	0	0	0	△ 181

第6次総合計画 実施計画 事業一覧

単位:千円

章	節	番号	主要施策名	事業概要	この1年間のできたこと	評価	今後の展開(力点)	令和7年度事業費		財源内訳				
										国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
	第4節 学校教育の充実	①	地域と連携した教育内容の充実 (教育委員会)	地域学校協働本部事業を展開しコミュニティースクールの実現を図る。 (下校支援、学習支援など)	「先生大集合」の取り組みでは、継続して幼稚園から高校までの連携の取り組みに寄与する活動を行った。ICT支援員を受入れ、今年度は当町より南伊豆町をサポートする体制となり、各校の連携の取り組みの継続強化を図った。	B	「先生大集合」では子供たちの学びにスポットを当てた取り組みをしている。	計画	1,300	300	300	0	0	700
								実績	60	0	0	0	0	60
								差引増減	△ 1,240	△ 300	△ 300	0	0	△ 640
		63P～	②	教育環境の整備 (教育委員会)	学校給食共同調理場を建築し、安全な給食を安定して提供する。 校舎や学習環境を効果的に管理することで、安定した学習環境を維持する。	B	費用対効果や今後の見通しなどを考慮しながら対応にあたる。	計画	48,300	20,332	0	15,900	4,000	8,068
								実績	97,429	9,495	8,632	47,200	18,985	13,117
								差引増減	49,129	△ 10,837	8,632	31,300	14,985	5,049
	第5節 生涯学習とリカレント教育の充実	①	生涯学習活動の促進 (教育委員会)	町民のニーズに応じた各種生涯学習講座や教室を開催する。	令和8年度に開催する活動について協議をした。	E	新たな視点が必要	計画	300	0	0	0	0	300
								実績	0	0	0	0	0	0
								差引増減	△ 300	0	0	0	0	△ 300
		69P～	②	関係機関との連携の促進 (教育委員会)	2030松崎プロジェクトやJUSA等、町と協定を結んでいたり繋がりを持っている大学、企業等の協力を得た新たな学習機会の提供を行う。	E	新たな視点が必要	計画	1,000	0	0	0	0	1,000
								実績	1,000	0	0	0	0	1,000
								差引増減	0	0	0	0	0	0
		73～74P	③	リカレント教育の促進 (教育委員会)	大学や企業と連携したリカレント学習講座を開催する。 ・JUSAによるICT関係講座 ・部活動地域移行に向けたスポーツ指導者の養成講座	D	ニーズの把握と効果的な展開について検討していく	計画	500	0	0	0	0	500
								実績	0	0	0	0	0	0
								差引増減	△ 500	0	0	0	0	△ 500
	第6節 スポーツ・レクリエーションの振興	①	スポーツ・レクリエーション参加意識の高揚 (教育委員会)	・スポーツ・レクリエーションに興味を持ってもらうためのスポーツ講演会を実施や実際にスポーツに触れる機会を提供する。 ・体育施設の維持監理を行い、充実したスポーツ環境を整える。 ・体育施設をより使いやすいため、スマートロック、予約管理等のシステムを導入する。	委員が1名交代となった。 静岡県スポーツ推進委員研究大会の中で、松崎町の事例発表を行った。	C	継続した取組を推進していく	計画	1,900	0	0	0	0	1,900
								実績	1,335	0	0	0	0	1,335
								差引増減	△ 565	0	0	0	0	△ 565
Ⅲ	地域に根付いた産業が育まれ、経済がにぎわうまちづくり	第1節 観光の振興	①	体験型観光の推進 (企画観光課)	・体験事業のニーズ把握・新規体験メニューの創出 ・ホームページ等を活用した情報発信 ・教育旅行の誘致 ・事務局の体制整備の強化	B	積極的に教育旅行を誘致したいところではあるが、受け入れ先の減少、事務局予算の縮小により、積極的に教育旅行を営業することが難しい状況。教育旅行は、固定客の確保を軸にしつつ、新たな取り組みを模索する。	計画	5,000	0	0	0	0	5,000
								実績	4,471	0	0	0	0	4,471
								差引増減	△ 529	0	0	0	0	△ 529
		81P～	②	町営観光施設の活用促進 (企画観光課)	・町有観光施設の維持・修繕 ・道の駅花の三聖苑の整備活用 ・旧依田邸の文化財保存及び整備活用	C	道の駅内の天城山房の売上は上がっており、オペレーションのセルフ化やメニューの削減などで支出費用を抑えられるよう模索する。	計画	5,650	0	0	0	0	5,650
								実績	3,736	0	0	0	0	3,736
								差引増減	△ 1,914	0	0	0	0	△ 1,914

第6次総合計画 実施計画 事業一覧

単位:千円

章	節	番号	主要施策名	事業概要	この1年間でできたこと	評価	今後の展開(力点)	令和7年度事業費		財源内訳				
										国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
	第2節 農林漁業の振興	①	農業の振興 (産業建設課)	1町内で担い手等関係者と協議をし、地域の将来の農業の在り方を協議して集約等も踏まえた目標地図を作成していく。 2桜葉振興会への補助金、支援学校との農福連携等 3有害獣等被害防止対策事業補助・有害鳥獣捕獲報奨金等	・農業振興会と連携し、振興会への入会者を2名確保した。 ・農業関連法人が事業・営農の規模拡大を図れるよう、農地の確保や必要な法手続きについての支援を行った。 ・現地調査結果に基づく所有者への働きかけや荒廃農地等の保全に係る活動への補助、補助制度を活用して整備した機械の利用により保全管理の推進を図れた。 ・桜葉関連の新商品の生産体制の構築に向けた支援を行った。 ・物産展などの各イベントに農業振興会として出店し、地場産品をPRすることができた。	C	今後も就農者や農業法人等の担い手の確保、農地の維持管理の推進、基盤整備による集約化の推進、物産展などでの地場産品のPRや加工品の商品化などによる販路の拡大活動を通して農業の振興を図っていく。 また、鳥獣害対策を充実させ、農業を守る活動も併せて図っていく。	計画	5,246	300	0	0	0	4,946
								実績	2,610	0	0	0	0	2,610
								差引増減	△ 2,636	△ 300	0	0	0	△ 2,336
		87P～	②	林業の振興 (産業建設課)	森林経営管理制度の実施に伴う全体計画が策定され、所有者に対してアンケート実施や結果により現地調査をし、整備の検討を行う。併せて、所有者や事業体が森林整備を実施しやすい新たな補助制度を創設する。 倒木の危険性のある箇所の予防伐採業務を行う。	C	他自治体の事例を参考にしながら、森林環境譲与税を効果的に活用した森林整備を推進し、木材の財産価値を高めるとともに、森林機能の強化を図り、併せて林業に携わる人財の育成も図っていく。	計画	19,500	0	0	0	19,500	0
								実績	19,500	0	0	0	19,500	0
								差引増減	0	0	0	0	0	0
	第3節 商工業の振興	①	商工業の活性化 (企画観光課)	・空き店舗の利活用 ・新規創業者や商業活性化の核となる店舗の取組への支援	地域商工業の活性化を図る目的で、商工会と連携、活動を支援した。 商工会事業として、空き店舗を活用したイベントや研修が開催された。 空き店舗を含めた散策マップを作成し、活用されている。	B	商工会の職員体制など安定化させ、事業所への支援が出来るよう努めていく。	計画	250	0	0	0	0	250
								実績	500	0	0	0	333	167
								差引増減	250	0	0	0	333	△ 83
		93P～	②	中小企業の経営支援 (企画観光課)	・各種利子補給事業 ・事業所振興情報交換会による情報共有 ・町内事業者の事業継続支援策等の検討・実施	B	利子補給で、中小企業の資金繰りを短期的に支えていくだけでなく、事業者が長期的に松崎町に残り続けるように事業継承の支援にも力を入れていく。	計画	1,655	0	0	0	0	1,655
								実績	1,326	0	0	0	0	1,326
								差引増減	△ 329	0	0	0	0	△ 329
		97～98P	③	特産品の開発と活用 (企画観光課)	・商工会商工業振興対策事業(「松崎ブランド」創出展開支援事業)	D	開発した商品や認定した松崎ブランド商品の販路開拓、広報の戦術レベルの研究と実践が必要。	計画	100	0	0	0	0	100
								実績	0	0	0	0	0	0
								差引増減	△ 100	0	0	0	0	△ 100
	第4節 新たな産業の振興	①	地域資源の保全と活用 (企画観光課)	・棚田振興協議会の運営補助 ・棚田活用のイベント及び大学連携に対する補助	棚田保全については、担い手不足はなかなか解消できない課題ではあるが、引き続き外部人材の尽力により予定していた事業を行うことができた。また、国の交付金を活用し、昨年に続き二棟目となる茅葺小屋の修繕を行い景観保全に務めた。 なまこ壁については、新たな取り組みとなるA3ワークショップの開催により、今後の保全活動に向けた計画について検討することができた。	B	石部棚田については、外部人材に頼っている状態であるため、町民が棚田保全に関われる施策を試みる。	計画	3,600	0	0	0	0	3,600
								実績	2,833	0	0	0	0	2,833
								差引増減	△ 767	0	0	0	0	△ 767
		101P～	②	ワーケーションの推進 (企画観光課)	・コンソーシアム体制の構築 ・ワーケーション推進計画に基づく事業推進 ・ホームページの運営 ・町有施設の利活用・運営 ・町内外ネットワークの構築	C	現在の情勢的にもワーケーションの推進は難しいが、現状の施設の維持管理を行うとともに、施設の運用の改善、周知強化を図る。	計画	3,000	0	0	0	0	3,000
								実績	2,723	0	0	0	0	2,723
								差引増減	△ 277	0	0	0	0	△ 277
		107～108P	③	新たな働き方の支援 (企画観光課)	地域の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出する「特定地域づくり事業協同組合」の設立を支援する。 令和5年度は県主催による勉強会を開催した。制度に興味のある事業者には概ね制度概要が伝えられたと思われるが、具体的な動きはまだ見られない。	D	必要性やニーズに応じ、事業の推進を検討する。	計画	0	0	0	0	0	0
								実績	0	0	0	0	0	0
								差引増減	0	0	0	0	0	0

第6次総合計画 実施計画 事業一覧

単位:千円

章	節	番号	主要施策名	事業概要	この1年間でできたこと	評価	今後の展開(力点)	令和7年度事業費		財源内訳				
										国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
Ⅳ 豊かな社会・自然環境を次代へつなぐ、持続可能なまちづくり	第1節 環境保全と脱炭素社会の促進	①	景観づくりの推進 (企画観光課)	・なまこ壁の建造物等の補助制度の創設(R6開始予定) ・なまこ壁を活かした景観づくりの推進(重点地区計画の策定(R8予定)・街なみ環境整備事業の実施(R9予定)・歴史的風致維持向上計画の策定)	・昨年度要綱を制定したなまこ壁建造物の保存のための補助金を活用した修繕事業が行われた。 ・なまこ壁技術伝承事業により、27.6㎡のなまこ壁修繕を行った。 ・花いっぱい運動での各種事業を継続し、環境づくりを推進した。	B	景観計画に基づく景観資産の認定制度により、なまこ壁に限らない町の景観保全を図る。	計画	2,000	0	0	0	0	2,000
								実績	1,000	0	0	0	0	1,000
								差引増減	△ 1,000	0	0	0	0	△ 1,000
		②	ごみ減量とリサイクルの促進 (生活環境課)	広域ごみ処理施設の設置、管理及び運営 焼却施設竣工予定(R9年度中→R11年度中) 資源化施設竣工予定(R11年度末→R13年度末)	② ごみ減量とリサイクルの促進 ◇ ごみの分別や減量化について、広報紙などを通じて周知を図った。 ◇ 南伊豆地域清掃施設組合(構成市町:下田市、南伊豆町、西伊豆町、松崎町)については、広域化に向け準備を進めていたが、南伊豆町の離脱等により、令和7年度末で組合を解散することになり、再度広域化以外の方法も含め、検討を開始した。	C	南伊豆地域清掃施設組合が解散となったため、どういった対応をするのが町にとってよいか様々な可能性について検討していく。	計画	18,443	0	0	0	0	18,443
								実績	12,062	0	0	0	0	12,062
								差引増減	△ 6,381	0	0	0	0	△ 6,381
	第2節 文化財の保護と活用	①-1	文化財の保護・保存 (教育委員会)	・指定文化財の保存状況の把握、所有者との情報共有を行う。 ・未指定文化財を調査、研究し、重要なものから指定を進める。	①-1 名勝地の進達を行った。	D	地域計画策定に向けた取組を行う。	計画	300	0	0	0	0	300
								実績	0	0	0	0	0	0
								差引増減	△ 300	0	0	0	0	△ 300
		①-2	文化財の保護・保存 (企画観光課)	・なまこ壁技術伝承事業 ・鏝絵のまち推進事業 ・フェスタ長八 ・長八作品保存業務	①-2 第25回全国漆喰鏝絵コンクール作品展では、応募作品の中から入賞作品15点を伊豆の長八美術館へ展示した。また、併せて民芸館3階で佳作展を実施した。	B	引き続き長八の伝統を踏まえた作品や新しい時代にふさわしい自由な発想と技法の作品を募集し、鏝絵の更なる展開を図る。	計画	5,490	0	0	0	0	5,490
								実績	3,909	0	0	0	0	3,909
								差引増減	△ 1,581	0	0	0	0	△ 1,581
		②-1	文化財の活用 (教育委員会)	重要文化財岩科学学校の維持管理を行うとともに、耐震化を進める。	②-1 文化財の地域計画について、県の職員の方から説明を受けた	D	地域計画策定に向けた取組を行う。	計画	2,000	0	0	0	0	2,000
								実績	1,484	0	0	0	0	1,484
								差引増減	△ 516	0	0	0	0	△ 516
		②-2	文化財の活用 (企画観光課)	・旧依田邸離れの一般公開 ・有料公開に向けての検討、調整 ・旧依田邸独自のお土産(特産物)の検討、商品化	②-2 旧依田邸文化財については、NPO法人伊豆学研究会に委託し、裂織教室・作品展を開催した。情報通信を発信し周知を行っている。 旧依田邸でのワークショップ等の開催を行った。	D	旧依田邸の文化財の価値を再確認し、保全への意識高揚を図る。 また、入館者等にQRコードでのアンケートを実施し、回答を集計し分析をしていく。	計画	0	0	0	0	0	0
								実績	0	0	0	0	0	0
								差引増減	0	0	0	0	0	0

第6次総合計画 実施計画 事業一覧

単位:千円

章	節	番号	主要施策名	事業概要	この1年間のできたこと	評価	今後の展開(力点)	令和7年度事業費		財源内訳				
										国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
Ⅴ	第3節 文化活動の推進	①	芸術文化活動の推進 (教育委員会)	文化協会と連携し、芸術祭、芸能発表会を開催する。また、新たな会員獲得や多くの住民に参加してもらえるよう町ホームページなどにより文化活動の積極的なPRを行う。	松崎町文化協会で日ごろ活動を行うとともに、発表の場として芸術祭、芸能発表会を開催した。 芸術祭出品数 329品 芸能発表会 出演団体 7団体	B	今後も活動を維持していく。	計画	425	0	0	0	0	425
								実績	425	0	0	0	0	425
								差引増減	0	0	0	0	0	0
	第4節 上下水道と温泉の整備	①	水道事業の安定化 (生活環境課)	経営戦略に基づき、施設の健全度を確保し、供給の安定化、経営の安定化を図る。	・料金改定について、当初の予定どおり令和7年4月から実施した。 ・令和8年度への繰越となったが、伏倉地区送配水管布設工事(第1工区)及び(第2工区)の発注及び契約を行った。	B	伏倉配水池の更新に向け、送配水管新設の工事を実施する。	計画	193,453	43,000	0	79,000	0	71,453
								実績	15,896	0	0	0	14,451	1,445
								差引増減	△ 177,557	△ 43,000	0	△ 79,000	14,451	△ 70,008
		②	温泉事業の安定化 (生活環境課)	経営戦略に基づき、施設の健全度を確保し、供給の安定化、経営の安定化を図る。	・日常点検、定期的な保守点検による施設の健全度の確保を行った。 ・経営戦略の改定に向け、総務省の地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業を利用し、アドバイザーによる支援を受けながら、改定の方角性について検討を行った。	B	日常点検や定期的な保守点検を欠かさずに行うことにより施設の健全度を確保し、今後も継続して温泉を安定的に供給するとともに、経営の安定化を図る。また、経営戦略の改定及びアセットマネジメント計画策定を行い、将来の温泉事業のあり方について検討する。	計画	3,000	0	0	0	0	3,000
								実績	0	0	0	0	0	0
								差引増減	△ 3,000	0	0	0	0	△ 3,000
	第5節 道路・交通網の整備	①	道路・橋梁の整備 (産業建設課)	1地区の要望や道路パトロールに基づき町道の整備を推進 2伊豆縦貫自動車道や国道136号、県道下田松崎線、県道南伊豆松崎線などの国道・県道について、継続した改善要望活動を国や県に対し実施 3橋梁の長寿命化を図るため、点検補修を推進	・地区要望等に基づき、町道横枕線舗装補修工事他6件の工事を実施 ・近隣市町と連携して伊豆縦貫自動車道の早期開通、国県道の改良整備について要望活動を実施 ・伏倉橋橋梁補修工事(橋梁部)を完了・繰越事業にて伏倉橋橋梁工事(欄干部)を発注 ・橋梁点検31橋、修繕4橋を実施	B	・伊豆縦貫道の整備、国県道の改良整備について、引き続き要望活動を実施していく。 ・地区要望等に基づき、町道整備を引き続き進めていく。 ・計画に基づき橋梁の点検・修繕を進めていく。	計画	97,367	59,978	0	32,000	5,000	389
								実績	91,916	24,229	0	36,200	0	31,487
								差引増減	△ 5,451	△ 35,749	0	4,200	△ 5,000	31,098
		②	公共交通の充実 (企画観光課)	・自主運行バスの継続と精査 ・地域のニーズに合わせた新たな運行方法を検討するための実証実験、運行手段の確立	・自主運行バスの精査のため、東海バスとの協議、公共交通会議にて話し合いを行い、雲見線の減便を行った。	C	自主運行バスのあり方の見直し、実情に合った新たな運行方法の検討が必要。	計画	38,000	0	9,000	0	0	29,000
								実績	30,986	0	9,264	0	0	21,722
								差引増減	△ 7,014	0	264	0	0	△ 7,278
	第1節 行政の リデザイン 第2節 地域の ガバナンスと きょうどう	①	職員の資質向上 (総務課)	職員の目標・活動・組織・待遇の魅力を向上させるための調査・分析・施策提案等を委託するとともに、町村会が主催する各種の研修会に参加することによる計画的なキャリアマネージメントにより高い専門性と創造性を身につけ政策課題にあたる。	人材育成支援事業では、サーベイによる職員の意識や実態の把握、職員の相互尊重の意識向上を図るために有志職員によるワークショップなどを行った。研修では、新規採用職員の地方自治法、地方公務員法、公務員倫理などの、オンラインによる研修を行い、公務員の基礎的な知識の習得に繋げることができた。また、町村会等が主催する各種研修会に多くの職員が参加し、職員の資質向上に繋げることができた。	C	引き続き、研修の継続や各種研修への参加により、職員の人材育成、モチベーションの向上を図る。	計画	6,192	0	0	0	0	6,192
								実績	6,028	0	0	0	0	6,028
								差引増減	△ 164	0	0	0	0	△ 164
		①	コミュニティの再構築 (企画観光課)	・各地区への支援(原材料支給、自治会保険、公民館改修) ・地区コミュニティの活性化、再構築に向けた新たな取り組みの検討	・各地区のコミュニティ施設の修繕や物品購入、コミュニティ活動補償費に対する助成等を実施した。	C	・コミュニティ施設に係る助成制度の拡大を図る。 ・高齢化、担い手不足による活力の低下が課題である。移住者や関係人口といった外部人財との繋ぎの部分の強化を図る。	計画	2,423	0	0	0	1,333	1,090
								実績	1,769	0	0	0	0	1,769
								差引増減	△ 654	0	0	0	△ 1,333	679
		②	住民参画の促進 (企画観光課)	・花いっぱい運動の推進 ・コミュニティ活動に対する助成の拡大 ・町政懇談会の開催 ・コミュニティ団体交流会の開催	・コミュニティ活動に対し、2件の助成を行った。 ・4地区で町政懇談会を実施した。 ・総合計画に掲げるコンパッションタウンに係るまちのつなぎ役のための学び合い講座を計6回開催し、勉強会やワークショップ、チーム活動を行った。	B	まちのつなぎ役のための学び合い講座を継続して実施し、住民活動の充実を図る。	計画	19,160	0	205	0	666	18,289
								実績	15,804	0	200	0	257	15,347
								差引増減	△ 3,356	0	△ 5	0	△ 409	△ 2,942

第6次総合計画 実施計画 事業一覧

単位:千円

章	節	番号	主要施策名	事業概要	この1年間でできたこと	評価	今後の展開(力点)	令和7年度事業費		財源内訳				
										国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
	第3節 スマート自治体・デジタル化の推進	①	デジタル化の普及促進 (企画観光課)	社会全体でスマートフォンやインターネットなどによる情報化社会への進展が加速化しており、時代の流れに則した情報通信メディアの普及を促進します。 具体的にはデジタルデバイド対策として、スマートフォンの購入費用助成や利用講座を実施します。 SNSを活用した情報発信などを検討します。	・LINEを用いた情報発信を行った。 ・職員間のコミュニケーションツール(LoGoチャット)の導入に向けた試験運用の実施 ・電子申請ツール(LoGoフォーム)の導入に向けた試験運用の実施	B	LINEでの情報発信について、リッチメニューの導入等、機能の拡充を検討し、更なるデジタル化の普及を図る。 また、電子申請の利用環境を整備し、利用者と職員の負担削減を目指す。	計画	100	0	0	0	0	100
								実績	0	0	0	0	0	0
								差引増減	△ 100	0	0	0	0	△ 100
		151P～	②-1	効率的な行政事務の推進 (企画観光課)	・基幹システムの標準化 ・電子申請システムの活用 ・電子決済の推進 ・ICT活用人材の育成	B	業務に影響を与えないよう、標準標準システム移行後の利用環境整備を行う。 庁舎内ネットワークや業務上扱う電子機器を整備し、効率的かつ快適に業務を行える環境を構築する。	計画	106,000	15,000	0	0	0	91,000
								実績	110,883	49,609	0	0	0	61,274
								差引増減	4,883	34,609	0	0	0	△ 29,726
		155～156P	②-2	効率的な行政事務の推進 (窓口税務課)	・マイナンバーカード申請受付の休日・夜間の窓口開設、個人宅・企業への出張申請受付の実施、広報チラシの配布等を行う。 ・住民票の写し、印鑑登録証明書のコンビニ交付 ・引越しワンストップサービスの導入	B	マイナンバーカード発行については、主たる区分が新規発行から更新等に移っているが、引き続き時間外申請窓口の開設を行い、“保有率”の維持向上に努めてきた。住民票等のコンビニ交付については、広報などによる周知を図り利用促進に係る取り組みを実施した。	計画	3,214	402	0	0	0	2,812
								実績	6,519	3,677	0	0	0	2,842
								差引増減	3,305	3,275	0	0	0	30
	第4節 広域行政・地域間交流の推進	①-1	広域連携の推進 (窓口税務課)	一部事務組合により西伊豆町と共同で新斎場の整備を行う。 ・基本設計、実施設計、火葬炉設備工事、建設工事等 ・負担割合:均等割40%、人口割60%(西伊豆町52.404%、松崎町47.596%) ・全体事業費:(共通事務費除く)R6 26,538千円、R7 83,241千円、R8 1,113,264千円	実施設計・施設解体を終え、本体工事契約を締結した。(事業費比較で計画より実績額が低いのは本体工事を債務負担高(ゼロ債務)としたため。本体工事契約額874,500千円、火葬炉148,500千円 合計1,023,000千円×47.596%≒486,900千円 ※他にR8は備品・監理業務などあり)	B	物価高騰や資材不足などの大きな課題があり、R8年度中の完成が困難な状況となっている。事業スケジュールの見直し、それに伴う財源手当についての対応に注力していく。また両町住民への説明対応についても西伊豆町とともに進めていきたい。	計画	586,432	0	0	585,400	0	1,032
								実績	39,914	0	0	38,400	0	1,514
								差引増減	△ 546,518	0	0	△ 547,000	0	482
		159P～	①-2	広域連携の推進 (企画観光課)	・広域連携需要にあった施策を精査し、賀茂地域広域連携会議での検討を継続していきます。 ・現状の消費者行政、滞納整理、指導主事の共同設置などに続く、事務の共同化の検討を進めます。	B	・引き続き、広域連携について検討・協議していく。 ・賀茂地域広域連携会議では、新たに人材不足の課題に焦点を当て、協議していく予定。	計画	5,469	0	192	0	0	5,277
								実績	6,056	0	408	0	0	5,648
								差引増減	587	0	216	0	0	371
	第5節 新たな人の流れの創出	①	関係人口の拡大 (企画観光課)	・「日本で最も美しい村」連合サポーター企業や加盟町村、新たな地域との交流、連携の構築。 ・美しい村DAOの推進 ・大学生のフィールドワーク、ボランティア活動、インターンシップの受入れなど、大学との連携事業の推進	・関係人口の新たな取組として、R9年度から国で始めるふるさと住民登録制度の導入を目指し、国交省の補助金を活用し、松崎町第二のふるさとコンソーシアムを立ち上げ、関係人口の受け入れプロジェクトに係る事業を実施した。 ・大学連携では、常葉大学、静岡大学、淑徳大学、立教大学、専修大学、一般社団法人コッレーガとの連携、フィールドワークの受入れ等を行った。 ・大学連携から継続した関係人口に繋げるため、新たにふるさと松崎学生アンバサダー制度を設置した。	B	ふるさと住民登録制度の導入に向けた準備を進める。	計画	1,640	0	0	0	0	1,640
								実績	1,998	0	0	0	0	1,998
								差引増減	358	0	0	0	0	358
		165P～	②	移住・定住の推進 (企画観光課)	・空き家バンク制度や空き家改修補助による住まいの確保 ・起業支援助成による移住サポート ・移住者受入体制の構築(移住希望者滞在費補助(R5開始)、移住相談、暮らしの情報発信、移住後のサポートなど) 【R5実績】移住:6組14人	B	引き続き、移住定住促進協議会を中心に、各種事業を進めるとともに、空き家バンクの登録強化を図る。	計画	10,000	0	2,250	0	1,000	6,750
								実績	8,564	0	450	0	0	8,114
								差引増減	△ 1,436	0	△ 1,800	0	△ 1,000	1,364

第6次総合計画 実施計画 【令和7年度】目標指標実績値一覧

	施策コード	■□目標指標□■	単位	現状値	各年度の実績値					目標値	指標実績に係る評価等	担当課
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度		
1	I - 1	災害協定・覚書件数	件	40	47	50	52			45	R9年度の目標値は超えているが、様々な業務等で関係機関と連携強化を図っていく必要がある。また、協定を結んだだけにならないよう、有事の際にスムーズに支援を依頼できるよう、平時での協力体制も築いていきたい。	総務課
2	I - 1	津波避難タワーの整備	基	1	1	1	1			2	事業を計画的に進めていく。また、住民への説明も丁寧に行っていく。	総務課
3	I - 2	火災発生件数	件	0	1	2	2			0	R7年度は、消防団が出動する火災が2件発生してしまいました。1件は住宅火災（一部焼損）、もう1件は野焼きによる林野火災で、草木の延焼による火災に巻きかれ1名の方が亡くられました。今後も引き続き火災予防を呼びかけていきます。	総務課
4	I - 3	地区サロン・通いの場	地区	9	10	10	15			10	講師派遣などの活動支援や参加促進により、活動サロンの増加につなげることができた。	健康福祉課
5	I - 4	要介護（要支援）者数	人	558	517	531	518			550	被保険者数は減少傾向にあるが、認定者数はほぼ横ばいの状況にある。介護予防や重症化防止に取り組むと同時に、自分らしい生活ができるよう生活支援やサービスの充実を図っていく。	健康福祉課
6	I - 5	地域生活への移行による施設入所者数	人	11	10	10	9			10	施設入所者の地域移行は実現できなかったが、入院施設から障害者施設を經由し、介護施設への移行支援については、関係機関との連携及び支援体制の確保から円滑な移行ができたと考える。	健康福祉課
7	I - 6	健康長寿県内順位（お達者度）男性	位	30	28	30	24			28	事業の見直しを行いながら、より現状や課題に沿った施策を推進していく必要がある。	健康福祉課
8	I - 6	健康長寿県内順位（お達者度）女性	位	31	25	33	34			29	事業の見直しを行いながら、より現状や課題に沿った施策を推進していく必要がある。	健康福祉課
9	I - 7	町の委員会などに占める女性委員の構成割合	%	21	22	22	16			25	割合が減ってしまっているが、人口減少もあるため、現状を維持しつつ増加を目指していきたい。	教育委員会
10	II - 1	年間出生数	人	14	10	7	15			17	各種施策に取り組んだが、結果として目標達成には至らなかった。引き続き、妊娠・出産・子育ての支援の一助となるよう事業を充実させていく必要があると考える。	健康福祉課
11	II - 2	青少年活動の団体数	団体	7	8	8	9			10	例年と変わらずの活動となってしまったため、何か改善策を検討したい。	教育委員会
12	II - 3	家庭教育学級の実施回数	回	3	3	3	3			5	現在の取組みを継続して推進していく。	教育委員会
13	II - 4	外部講師の人数	人	5	13	13	13			25	新たな講師を見つけしていく必要がある。	教育委員会
14	II - 5	生涯学習講座開設数	講座	8	6	6	0			10	開催が一回も出来ずに終わってしまった。	教育委員会
15	II - 6	松崎町体育協会の加盟団体数	団体	7	6	5	5			8	町民の減少などにより参加者が減り、団体としての活動が減ってきてしまっている。	教育委員会
16	III - 1	体験型観光事業数	事業	28	28	27	27			32	新規事業、廃止事業が無く、事業数に変更は無かった。	企画観光課
17	III - 1	スポーツ型観光人数	人	11,529	10,889	11,179	10,452			15,000	ダイビング、スポーツイベント（ITJ）が前年比減となり、全体の観光客数も減少した。	企画観光課

第6次総合計画 実施計画 【令和7年度】目標指標実績値一覧

	施策 コード	■□目標指標□■	単位	現状値	各年度の実績値					目標値	指標実績に係る評価等	担当課
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度		
18	Ⅲ - 2	新規就農者・農業後継者（累計）	人	3	4	6	8			5	意欲的な就農者を確保・育成できている。	産業建設課
19	Ⅲ - 2	認定農業者（累計）	人	14	13	12	12			17	既存の認定者が高齢化しており、経営意欲のある就農者を認定者に育成していく必要がある。	産業建設課
20	Ⅲ - 3	商工業者数	人	463	464	438	410			463	毎年度、商工業者数が減少しているためこれ以上減少しないよう食い止める必要がある。	企画観光課
21	Ⅲ - 4	新規起業件数	件	3	0	8	4			5	様々な業種の起業者が出てきており、起業のニーズは高いと感じる。相談も多く、引き続きの支援は必要である。	企画観光課
22	Ⅳ - 1	資源化率	%	15.6	15.9	16	16			16.4	広域化に併せ実施予定であった廃プラスチックの資源化などの実施が難しい状況となり、目標値の達成は困難。	生活環境課
23	Ⅳ - 2	旧依田邸の入場者数	人	3,937	4,162	4,167	4,311			6,000	入館者が増加となった。今後も情報を発信し、入館者を増やしていきたい。	企画観光課
24	Ⅳ - 3	文化協会加盟団体数	団体	12	12	12	12			15	人口減少が進む中、活発な活動を維持し続けている。	教育委員会
25	Ⅳ - 3	町民一人当たりの貸出冊数	冊/年	3	4	4	4			5	人口減少が進む中、貸出数の維持を続ける。	教育委員会
26	Ⅳ - 4	合併処理浄化槽設置補助基数（累計）	基	616	621	643	649			716	新築住宅の減少に伴い、合併処理浄化槽の新設は少なくなっている。また汲み取り便槽又は単独処理浄化槽からの転換も故障等が生じない限りは実施されるケースが少なく、総じて申請件数が少なくなってきた。	生活環境課
27	Ⅳ - 5	町道橋梁の耐震化の整備（累計）	橋	16	16	16	16			30	橋梁点検結果に基づく補修工事が多く、耐震化に着手できていない。	産業建設課
28	Ⅴ - 1	経常収支比率	%	86	86.3	83	82			83	近年は、国の物価高騰対策などの給付金事業等の影響が大きく、比率の増減が見られる	総務課
29	Ⅴ - 2	まちづくり活動支援補助金申請件数	件	0	3	2	2			2	継続して3年までしか利用できない、収益事業に使いにくいなど課題がある。周知を図ると共ににより使いやすい補助金とすることも検討する。	企画観光課
30	Ⅴ - 3	マイナンバーカード交付率	%	58.9	85.4	93	83			75.0	国の指標はカード発行数をベースにした”交付率”からカード保有者数をベースにした”保有率”に切り替わっている。R8.3末の当町の保有率は83.0％であり、全国平均（町村82.3％）より高く、静岡県平均（市町村84.7％）より低い。※既にR5の時点で目標は達成しており、今後は保有率を指標とする。	窓口税務課
31	Ⅴ - 3	スマートフォン利用率	%	72.0	－	－	－			85.0	現状値は総合計画策定時の住民アンケートの結果に基づくもので、毎年度の実績値は出すことができない。後期基本計画の策定時のアンケート結果で5年後実績値を調査する予定。	企画観光課
32	Ⅴ - 4	広域的共同事務数	件	3	3	3	3			4	広域的共同事務数の変化はない。	企画観光課
33	Ⅴ - 5	移住相談件数	件	101	67	102	113			150	移住定住促進協議会を中心とした様々な取組により、微増ではあるが、移住相談件数は増加した。	企画観光課
34	Ⅴ - 5	フィールドワーク等により松崎町を訪れる大学生の数	人	284	320	310	328			350	コッレーガや淑徳大学など新たな取り組みが始まったことにより、実績は伸びている。	企画観光課